

新年



西条市長 伊藤宏太郎

新年明けましておめでとうございます。謹んで初春のご祝詞を申し上げますとともに、皆様のご健勝と限りないご清福を、心からお祈り申し上げます。

さて、年頭にあたり昨年を振り返りますと、西条市では、国が直轄で整備を行う重点港湾43港の一つに「東予港」が選ばれました。昭和39年に当市が新産業都市に指定されて以来の悲願であった東予港の整備が大きく前進することとなりました。

また、昨年10月には、国連国際防災戦略が韓国で開催した「第4回アジア防災閣僚会議」におきまして、当市の防災の取り組みを発表する機会を得ました。以前から取り組んできた「12歳教育」をはじめとする当市独自の取り組みに対して、アジア各国から高い関心と評価が寄せられました。

一方、東洋経済新報社が公開した、全国787の市の成長力ランキングでは、当市が全国で第77位、県内11市中第1位にランク付けされまして、「元気のあるまち・西条」を改めて印象付けました。

これらのまちづくりの成果は、西条市民が丸となって、「西条の元気アップ」に取り組んできたことによるものです。

ここに改めて、市民の皆様をはじめ、当市のまちづくりにお力添えを賜りました

方々に、厚く御礼を申し上げます。

さて、急激な円高の進行等が地域の企業活動を直撃し、雇用や家計にも影響を及ぼしている中、当市も今後、特に財政面で一層厳しい状況に直面しようとしております。しかしながら、こういう状況であればこそ、知恵を発揮して市民の皆様からお預かりした貴重な「税」の使い道を工夫し、皆様の「安心・安全・健康」を守るための施策を、積極的に展開していくことが重要であると考えます。

こうした発想の下に、引き続き市民の皆様をはじめ、産・学・官の各フィールドの方々をつなぐ「チーム西条」のチームワークをもって、地域の均衡ある発展に取り組んでまいります。そして市民の誰もが「西条に住んでよかった」と、安心を実感できるまちの実現をめざしてまいります。

また、市職員の綱紀の粛正にも全力を挙げて取り組み、行政に対する信頼を一日も早く回復させる決意であります。

本年もどうかこの上ながらのご支援をお願い申し上げますとともに、皆様の益々のご多幸をお祈り申し上げます、年頭のごあいさつといたします。

平成二十三年元旦